



cmic
Pharmaceutical Value Creator

CMIC REPORT 2012

シミックレポート 2012

シミックホールディングス株式会社 第28期 ビジネスレポート
2011.10.1-2012.9.30

更なる成長を目指し、
中期計画を発表しました。

CONTENTS

- 01 CEO中村和男メッセージ
- 02 中期計画と事業戦略
- 05 くすりに関わる人々とシミックグループのサービス
- 07 当期業績のご報告
- 09 事業別概況
- 11 連結財務諸表
- 13 2013年9月期の見通し／株主の皆様の声
- 14 株式の状況／会社概要
- 巻末 株主メモ／healthクリックの健康コラム
単元未満株式をお持ちの株主様へ



さらなる成長に向け、挑戦を続けます

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。1992年に3名でスタートした当社は創業20周年を迎え、連結売上高500億円、従業員数4,400名を超える企業グループとなることができました。これもひとえに、創業以来当社を支えてくださった株主の皆様、お客様のおかげであると改めて深く感謝申し上げます。

創業20年の節目にあたり、当社は本年1月に持株会社として新たなスタートを切り、11月にはさらなる成長に向けた中期計画を策定いたしました。医薬品業界においては医療費抑制策の推進や大型医薬品の特許切れといった厳しい事業環境が続き、製薬企業は自社のビジネスモデルを大きく転換しようとしています。シミックグループはPVC (Pharmaceutical ValueCreator) という独自のビジネスモデルの下、自らイノベーションを起こすことでこうした変化をリードし、成長を加速し、一層製薬企業と社会に貢献する企業を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中村和男
代表取締役会長兼社長/CEO

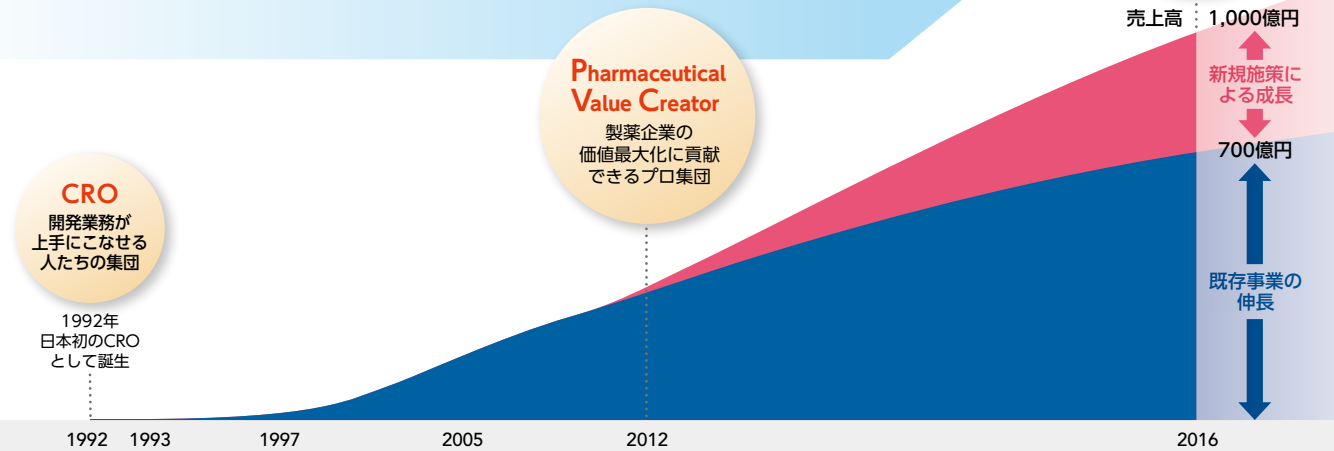


〈用語説明〉シミックグループのビジネスモデルと事業名

- ・ **PVC** (Pharmaceutical Value Creator) 製薬企業の価値最大化を支援するシミックグループ独自のビジネスモデル
- ・ **CRO** (Contract Research Organization : 医薬品開発支援) 製薬企業などに対し、医薬品の開発に関するサービスを提供する事業
- ・ **CMO** (Contract Manufacturing Organization : 医薬品製造支援) 製薬企業などから医薬品などの製造および分析化学サービスに係る業務を受託する事業
- ・ **CSO** (Contract Sales Organization : 医薬品営業支援) 製薬企業などに対し、MR (医薬情報担当者) 派遣など医薬品の営業・マーケティングを支援する事業
- ・ **SMO** (Site Management Organization : 治験施設支援) 医療機関で臨床試験参加者 (被験者) のケアや試験参加への同意取得補助など、治験実施をサポートする業務などを受託する事業
- ・ **IPD** (Intellectual Property Development : 知的財産開発) 診断薬や患者数の少ない疾病の治療薬 (希少疾病用医薬品。オーファンドラッグとも言う) をシミックグループが自社で開発する事業

ビジネスイノベーターを目指して

シミックグループは2016年9月期を最終年度とする中期計画を策定しました。ここでは中期計画とその実現に向けた事業戦略の概要をご紹介します。



製薬企業の市場環境

- 事業環境** ・医療制度改革、医療費抑制政策 ・大型製品の特許切れ
・後発品 (Generic) の普及推進 ・革新的な新薬シーズ、評価手法の欠如
・世界的な承認審査の厳格化 ・技術革新の停滞
- 業界動向** ・ビジネスモデルの転換 ・コスト効率の追求
・国際共同治験の増加
・新薬開発へ拍車、アンメットメディカルニーズへの挑戦

シミックグループのビジネスチャンス

- 3つのイノベーションで成長を加速
- ・ 技術イノベーション
 - ・ プロセスイノベーション
 - ・ ビジネスイノベーション

中期計数目標

(単位: 億円)	2012 (実績)	2016	
		計画目標※1	ストレッチ目標※2
売上高	503	700 (CAGR 8.6%)	1,000 (CAGR 18.7%)
営業利益	39	63 (CAGR 12.6%)	100 (CAGR 26.4%)
営業利益率	7.8%	9.0%	10.0%
ROE	12.6%	16.0%	16.0% 以上

※1 計画目標：既存事業の伸長を織り込んだ計画 ※2 ストレッチ目標：更に新規施策、M&Aからの伸長を織り込んだ目標 CAGR=年平均成長率

医薬品の総合的なサービス提供の経験を活かし、広く健康を支える事業の確立を目指して、ビジネスを展開します

シミックグループの強み

医薬品の総合的なサービスを提供する世界でもユニークなビジネスモデル(PVC) (研究開発、製造、承認、マーケティング・営業)

- 蓄積されたノウハウをもとに、製薬会社の戦略的パートナーとしての地位獲得
- 事業間連携による効率的な業務遂行
- 承認、特許、技術、ノウハウ等、知財の有効活用

重点施策

既存事業

品質と生産性の向上、人材の確保、国際案件への対応強化を進め事業規模を拡大していきます。

既存事業をテコにした新サービス

海外企業の日本展開におけるフルサポート、事業間連携による一括受託、臨床研究や製造販売後調査領域、バイオマーカーL-FABPを利用した新評価モデルの確立といった新サービスの開発・推進を行います。

国際事業展開

治験支援、製造支援を中心にアジア市場における支援事業の強化と欧米の製薬企業に対する営業活動の強化を行います。

ヘルスケア領域に事業拡大

個人に向けたヘルスケア領域のサービス展開を進めるとともに、病院・クリニック等の支援業務への進出を図ります。

投資計画

研究開発費

30億円(2013~2016累計)
オーファンドラッグ開発、製剤技術開発等

設備投資

120億円(2013~2016累計)
受託拡大のための製造設備投資等

M&A・アライアンス

事業上の相乗効果が見込める案件、PVCモデルに必要な案件には積極投資を行います。

利益還元方針

配当方針

目標配当性向30%(連結)
シミックグループの一層の成長のため財務基盤と企業体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益配分を行います。

治験支援(CRO/SMO)事業

戦略方針

日本におけるNo.1 CRO・SMOとして、国内市場シェア20-22%を獲得

施策

既存事業

人材の確保とノウハウの蓄積を進めるとともに、ICCC(海外企業にかわって日本での治験に係る全てを行う業務)を強化するなど、競争優位性の強化を図ります。

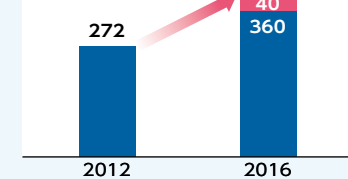
新規取組

海外展開の促進、事業間連携による新規事業の創生に取り組みます。

市場規模



売上高



製造支援(CMO)事業

戦略方針

製剤・分析・製造の技術革新による開発型CMOへの進展

施策

既存事業

技術力の強化による付加価値の向上と業務プロセスの革新による生産性の向上などを進めます。

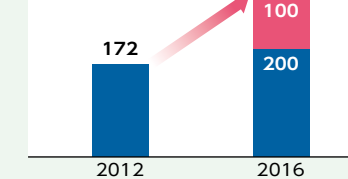
新規取組

製剤技術力の強化による開発型事業モデルへの転換や治験薬ビジネスの拡大などを進めます。

市場規模



売上高



■ 既存事業の伸長 ■ 新規施策による成長

営業支援(CSO)事業

戦略方針

新規ビジネスモデルの構築および提案型CSOとして営業利益率10%のビジネスモデルへの転換

施策

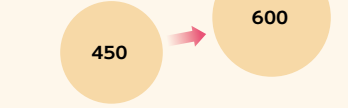
既存事業

営業力と人材マネジメントを強化するとともに、製造販売後調査における新サービスの構築を進めます。

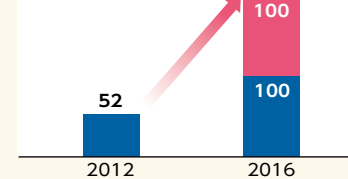
新規取組

海外企業との提携などを通じ、ビジネスモデルの多様化を図ります。

市場規模



売上高



ヘルスケア事業

※SMOを除く

戦略方針

個人のヘルスバリューに貢献するPHVC(Personal Health Value Creator)としての事業展開

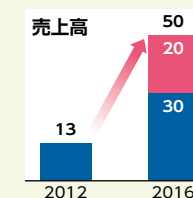
施策

既存事業

患者サポート、患者向け広告業務などの拡大を進めます。

新規取組

PHVCモデルの構築に向けた新規事業の開発や他社との連携を進めます。



知的財産開発(IPD)事業

戦略方針

知的財産(特許・承認)開発と付加価値の最大化および製薬企業の価値向上に貢献できるビジネスモデルの構築

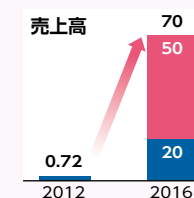
施策

既存事業

バイオマーカーL-FABPの事業価値最大化と自社開発の希少疾病用医薬品のビジネス化を進めます。

新規取組

自社の知的財産を活用した提案型ビジネスを進めるとともに、新技術・ノウハウのビジネス化を図ります。

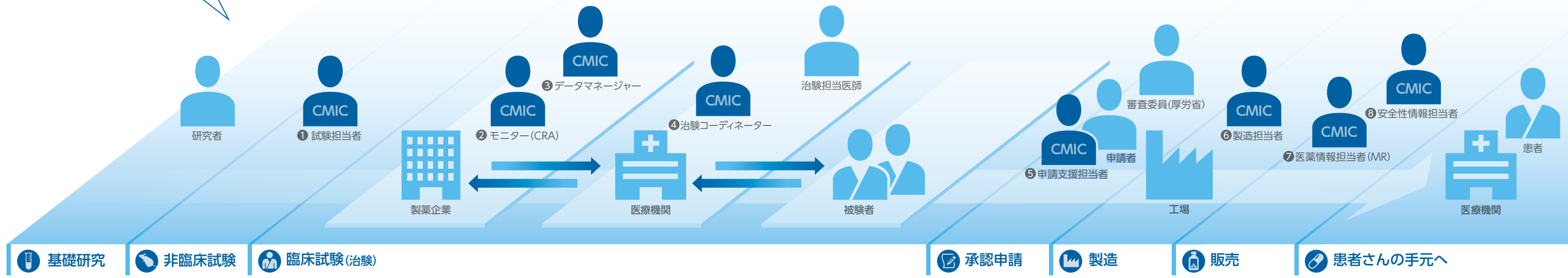


(単位:億円)

くすりを中心として広がるサービス

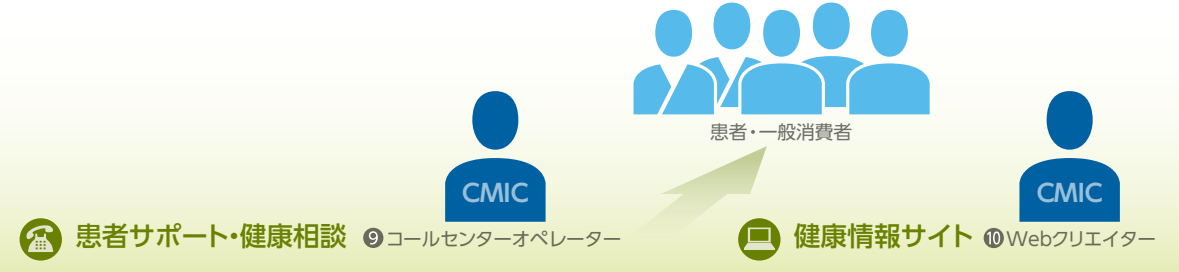
新しいくすりが開発され、患者さんの手元に届くまでには多くの時間と費用が費やされ、そのプロセスには多種多様な人々が関わっています。シミックグループはそうしたくすりの多くのプロセスに携わり、安全で有効なくすりの開発や安定供給を支えています。また、今後はヘルスケアの領域も含め、より人々の健康維持や健康増進に貢献する企業をめざしてまいります。

くすりの開発・製造・販売に関わる人々



- ① 試験担当者**
動物を用いてくすり候補の有効性や安全性を検討するとともに、分析装置を使って安定性などを確認します。
- ② モニター(CRA)**
医療機関で実施される臨床試験(治験)が倫理と科学に則った基準に従って行われているかをチェックします。
- ③ データマネージャー**
治験で得られた個々のデータの整合性等をチェックし、データベース化します。このデータを用いてくすりの有効性と安全性が統計的に解析されます。
- ④ 治験コーディネーター**
医療機関で治験に参加される方(被験者)のケアや医師のサポートを行います。
- ⑤ 申請支援担当者**
治験で得られたデータを元に、新薬の承認に必要な申請書類の作成や審査中の問い合わせに対する回答サポートなどを行います。
- ⑥ 製造担当者**
工場での薬の製造を行います。人々のいのちに関わる医薬品の製造には、非常に厳しい品質基準が求められます。
- ⑦ 医薬情報担当者(MR)**
くすりに関する様々な情報を医師に提供するとともに、新薬の使用結果に関するデータを収集します。
- ⑧ 安全性情報担当者**
くすりの副作用等に関する情報の収集・分析・報告を行います。
- ⑨ コールセンターオペレーター**
電話でくすり・医療機器に関する患者さんの問い合わせや一般の方の健康相談などに対応します。
- ⑩ Webクリエイター**
自社運営の健康ポータルサイト「healthフリック」を通じ、各種健康情報・疾病情報の提供を行っています。

ヘルスケア



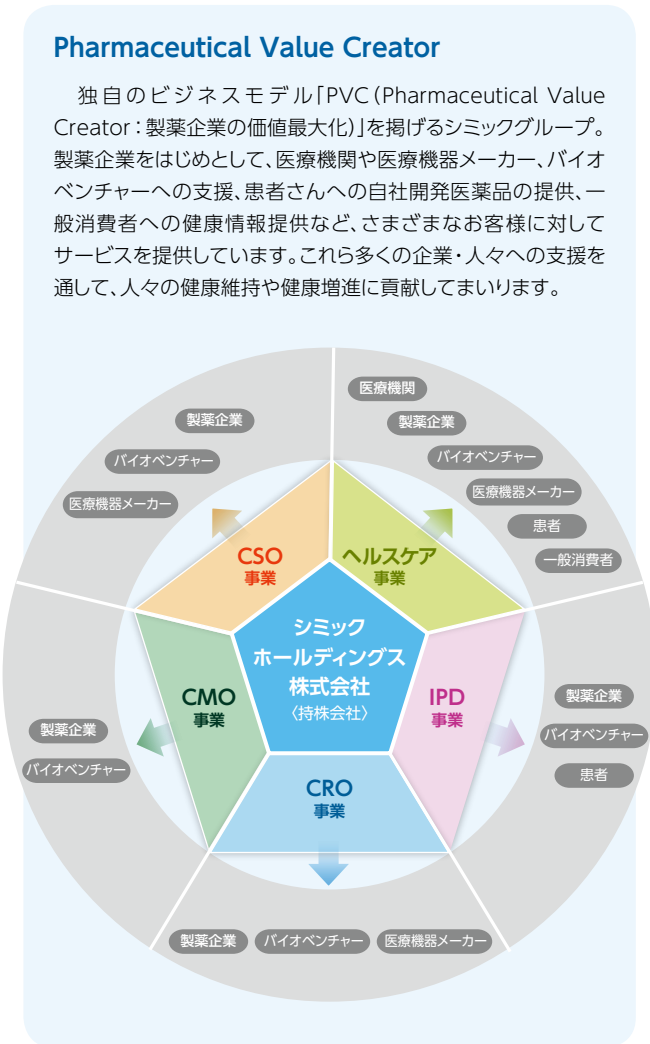
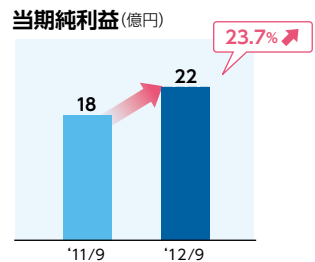
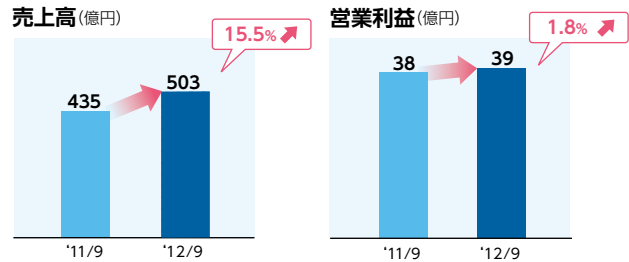
知的財産開発に係る事業で、診断薬やオーファンドラッグなどの開発および販売に係る業務を行っています。

全ての事業で増収を達成し、11期連続増収増益となりました

当期は5つの事業セグメント全てにおいて売上が伸長し、連結売上高は50,303百万円(前期比15.5%増)となりました。CRO事業においては新規受注・既存案件とも順調に進捗したことから2桁の伸びとなりました。また、CMO事業においては当期より自社調達に切り替えた原材料費相当額が売上に含まれています。

連結営業利益は、CSO事業におけるプロジェクト開始遅延の影響やIPD事業における研究開発費の増加があったものの、CRO事業およびCMO事業が好調に推移したことから3,918百万円(同1.8%増)となりました。

当期純利益はCRO事業の子会社2社の合併によって税金費用が減少したことなどにより2,241百万円(同23.7%増)となりました。



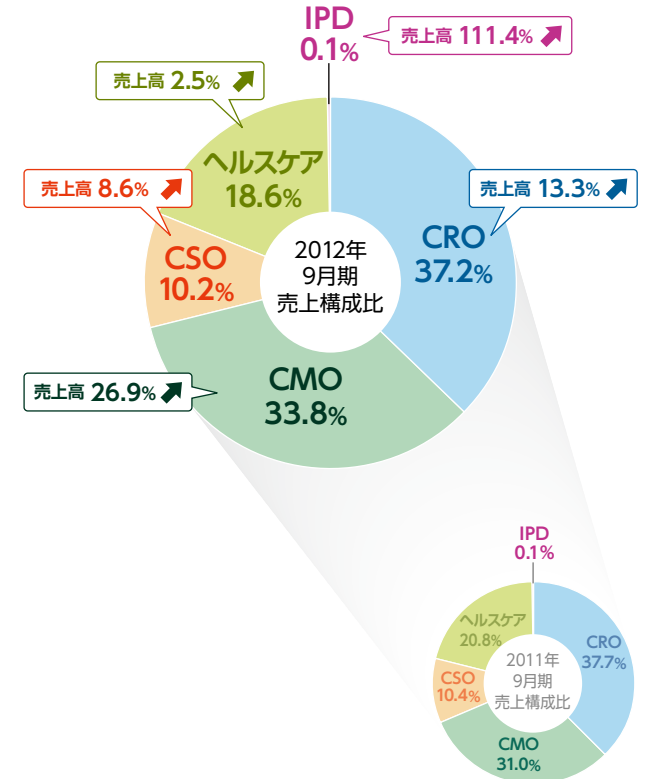
当期においては、PVC事業モデルの強化と、人材の効率的な活用および受託機会の拡大等を通じた競争力の一層の強化に努めました。

持株会社制への移行

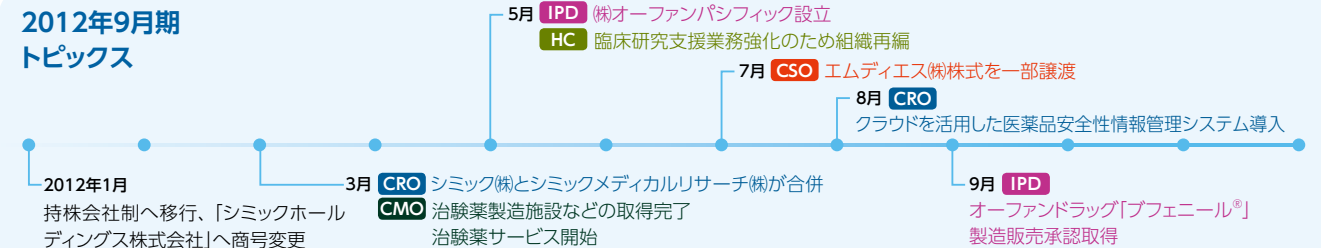
本年1月4日付でシミックグループは持株会社制に移行しました。これにより各事業における意思決定の迅速化、グループの資源配分の適正化を図るとともに、持株会社がグループ戦略の策定・推進機能を持つことで多様な事業活動を統合し、一層の総合力を発揮していきます。

PVC事業モデルの強化

各事業において、既存事業の着実な進展や新サービスへの取り組みを通じ、PVCモデルの強化を図りました。CRO事業においては大幅に受注高が伸長し、受注残高は200億円を超える水準に達しました。CMO事業においては、シミックCMO(株)が治験薬サービスを開始し、IPD事業においてはオーファンドラッグ販売のための合併会社を設立しました。また、9月には尿素サイクル異常症用薬「ブフェニール®」が自社開発のオーファンドラッグとして初の製造販売承認を取得しました。



2012年9月期トピックス



事業別概況

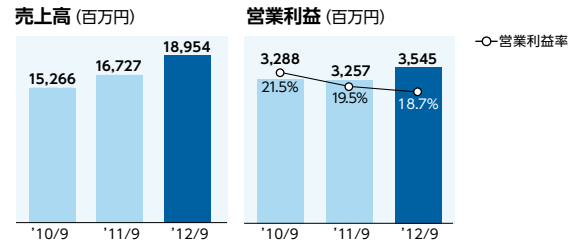
CRO (医薬品開発支援) 事業

主に製薬企業に対し医薬品開発(臨床試験など)を支援する事業

売上高 モニタリング、データマネジメント業務における新規受注の増加と既存案件の進捗により、前期を大幅に上回りました。

営業利益 のれん償却費の発生、非臨床業務の営業損失をモニタリング、データマネジメント業務で補い、前期を上回りました。

Topics 受注高が前期比+18.2%、受注残高が前期比+27.3%と大きく増加しました。



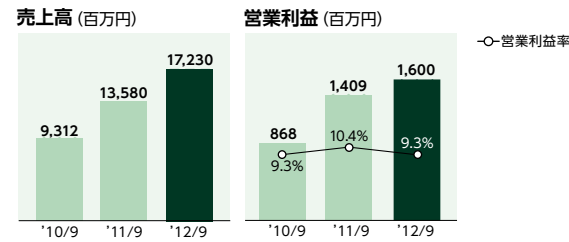
CMO (医薬品製造支援) 事業

主に製薬企業から医薬品などの分析・製造業務を受託する事業

売上高 シミックCMO富山(株)において特定製品の受注減少等がありましたが、分析化学サービスが伸長したことや、当期より自社調達に切り替えた原材料費が加わったことから、売上高は増加しました。

営業利益 シミックCMO(株)や(株)応用医学研究所の業績が堅調に推移したことから、前期を上回りました。

Topics シミックCMO(株)が治験薬製造施設などを取得し、治験薬サービスを開始しました。



CSO (医薬品営業支援) 事業

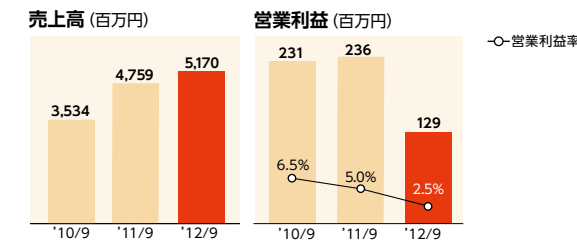
主に医薬品の営業・マーケティングを支援する事業

売上高 MR*派遣業務の受注が順調に増加し、前期を大幅に上回りました。

営業利益 MR派遣業務でのプロジェクト開始遅れ等により、前期を大幅に下回りました。

Topics メディカルコミュニケーション業務(販促資材企画・制作など)を行うエムディエス(株)の株式を一部譲渡した結果、第4四半期より同社は持分法適用関連会社になりました。

*MR (Medical Representative: 医薬情報担当者)
一販売中の医薬品の効能・効果・副作用情報などの適正使用情報の提供・収集を行う



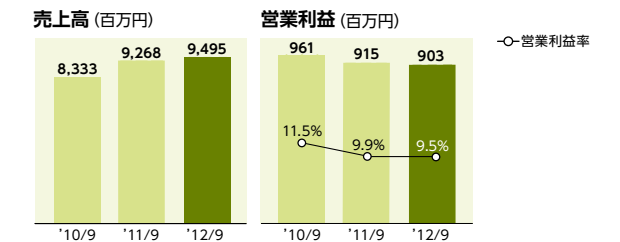
ヘルスケア事業

医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進を支援する事業

売上高 SMO業務や医薬・医療向け一般派遣業務の売上が増加し、前期を上回りました。

営業利益 SMO業務において採算性の低いプロジェクトの影響により原価率が上昇し、前期をやや下回りました。

Topics 臨床研究支援業務強化のため、同業務をサイトサポート・インスティテュート(株)に移管しました。

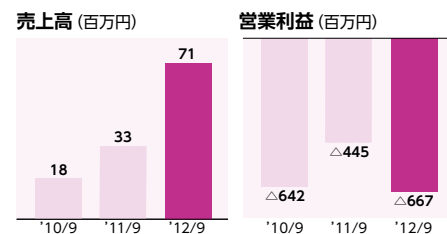


IPD (知的財産開発) 事業 自社にて知的財産を開発する業務

売上高 体外診断用医薬品「レナプロ®L-FABPテスト」の学術的プロモーション活動の推進などにより、前期を上回りました。

営業損失 オーフアンドラッグの研究開発費等により、引き続き営業損失を計上しています。

Topics オーフアンドラッグ「ブフェニール®」が製造販売承認を取得しました。また、オーファンドラッグの販売を行う合弁会社を設立しました。



CMO 治験薬サービス開始

当期よりシミックCMO(株)が治験薬サービスを開始しました。これにより、製薬企業に対して製剤処方設計から治験薬製造、さらには製品製造までの一括した受託製造サービスや、CRO事業と連携したワンパッケージの治験薬サービスを提供することが可能となりました。



治験薬棟

IPD 「ブフェニール®」製造販売承認取得

ブフェニール®(一般名:フェニル酪酸ナトリウム)は体内でフェニル酢酸となり、尿素サイクルとは異なる代替経路によりグルタミンを尿中に排泄させることで、血中のアンモニア濃度を低下させる薬剤です。海外では既に、米国、EU、台湾、韓国で承認・販売されています。



尿素サイクル異常症用薬
「ブフェニール®」

※持株会社制への移行に伴い、当社(持株会社)にかかる全社費用を各事業に配分しない方法に変更しています。前期以前の情報は、当該変更後の算定方法に基づき作成しています。

連結貸借対照表(要旨)(単位:百万円)

科目	前期 2011年9月30日現在	当期 2012年9月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産	22,444	24,486	2,042
固定資産	16,937	17,779	842
有形固定資産	11,067	12,254	1,187
無形固定資産	2,745	2,166	△ 579
投資その他の資産	3,124	3,357	233
資産合計	39,381	42,265	2,884
負債の部			
流動負債	12,839	14,581	1,742
固定負債	9,633	8,980	△ 653
負債合計	22,472	23,561	1,089
純資産の部			
株主資本	17,164	18,814	1,650
その他の包括利益累計額	△ 307	△ 226	81
少数株主持分	51	114	63
純資産合計	16,908	18,703	1,795
負債純資産合計	39,381	42,265	2,884

ポイント 1 資産合計

主に原材料など棚卸資産の増加(+15億円)および治験薬製造施設取得などによる固定資産の増加(+8億円)によります。

ポイント 2 負債合計

主に短期借入金の増加(+15億円)によります。

ポイント 3 純資産合計

主に利益剰余金の増加(+16億円)によります。

連結損益計算書(要旨)(単位:百万円)

科目	前期 2010年10月1日から 2011年9月30日まで	当期 2011年10月1日から 2012年9月30日まで	増減額
売上高	43,555	50,303	6,748
売上原価	32,961	38,729	5,768
売上総利益	10,593	11,574	981
販売費及び一般管理費	6,744	7,655	911
営業利益	3,849	3,918	69
営業外収益	152	229	77
営業外費用	290	313	23
経常利益	3,712	3,835	123
特別利益	43	40	△ 3
特別損失	325	280	△ 45
税金等調整前当期純利益	3,430	3,595	165
法人税、住民税及び事業税	2,195	1,652	△ 543
法人税等調整額	△ 592	△ 263	329
少数株主利益	16	△ 35	△ 51
当期純利益	1,811	2,241	430

ポイント 4 売上高

CRO事業で22億円の増収となったほか、シミックCMO(株)にて当期より自社調達に切り替えた原材料費相当額(+41億円)が計上されています。

ポイント 5 当期純利益

連結子会社合併に伴う繰越欠損金控除などにより、前期に比べ税金費用が減少(△2億円)しました。

当期CSR活動のご紹介

シミックグループは良き企業市民としての責任を果たし、社会から信頼される企業となるため、様々な活動に積極的に取り組んでいます。当期は日本各地の病院をアーティストMAYA MAXXさんが訪れ、子どもたちと一緒に絵を描く「Happy Color Project」への協賛と参加、地域コミュニケーションと東日本大震災復興支援を目的とした納涼祭開催といった活動を行いました。納涼祭の募金と収益金の一部は震災義援金として被災地の方にお届けいたしました。

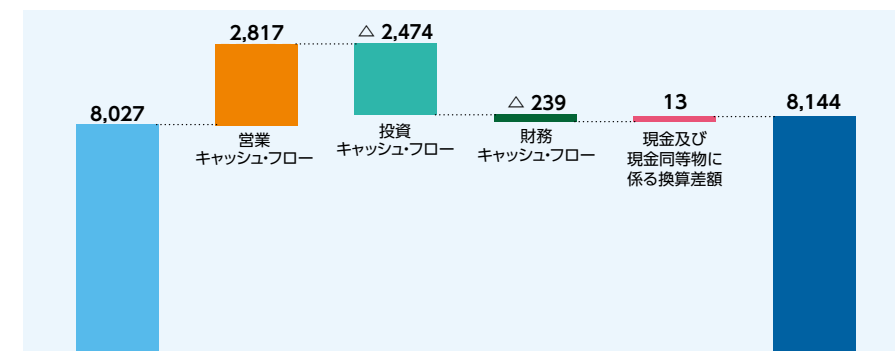


Happy Color Project



震災義援金を静岡県島田市社会福祉協議会に寄託

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位:百万円)



ポイント 6

純利益や減価償却などにより営業C/Fは28億円の収入となる一方、投資C/Fは治験薬製造施設などの有形固定資産の取得などにより24億円の支出となりました。現金及び現金同等物は81億円になりました。

期首残高(2011年10月1日)

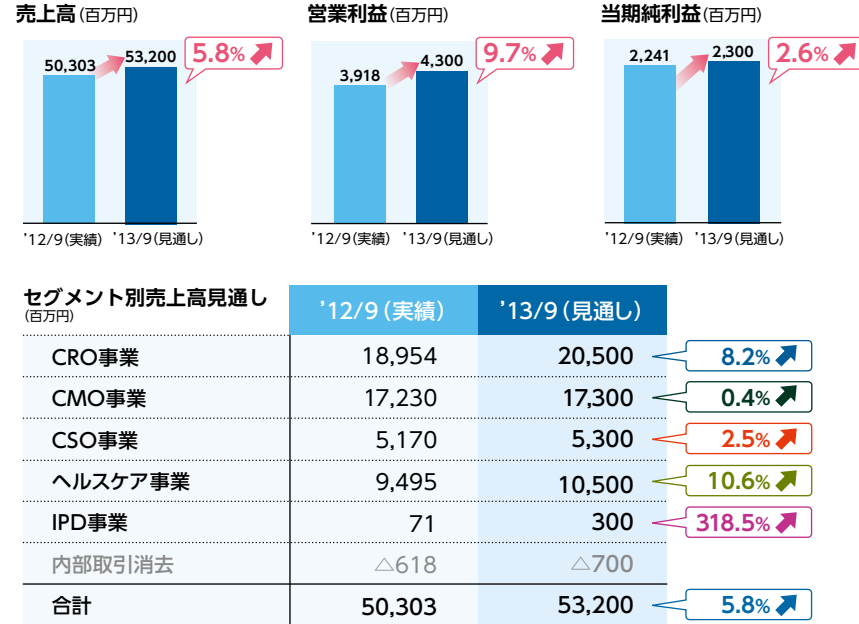
期末残高(2012年9月30日)

2013年9月期の見通し

医薬品業界は引き続き厳しい事業環境にあり、製薬企業は後発品や新興国への進出など新たな取り組みを進めています。一方、製薬企業が新薬開発力を強化する傾向は続いており、開発・製造・販売のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズは一層拡大するものと考えています。

シミックグループは、各事業領域の基盤や個々のサービスの一層の強化を図るとともに、事業間シナジーをさらに追求して事業の収益性と生産性を高めていきます。

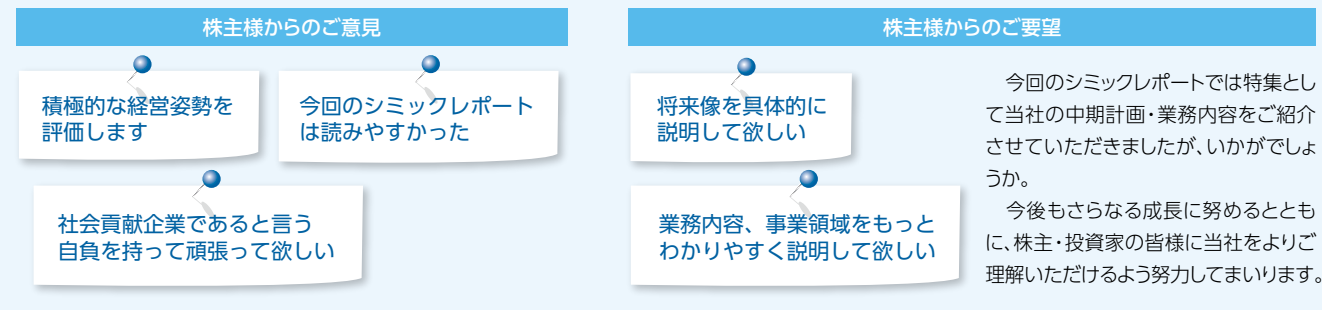
2013年度は受注が好調なCRO事業の伸長を中心に、当期に引き続き全事業での増収を見込んでいます。



当レポートに記載されている業績予想並びに将来予測などは、入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。

株主の皆様の声

前回のシミックレポートアンケートにおいて、多くの株主様より貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。その結果の一部を掲載いたします。



株式の状況

2012年9月30日現在

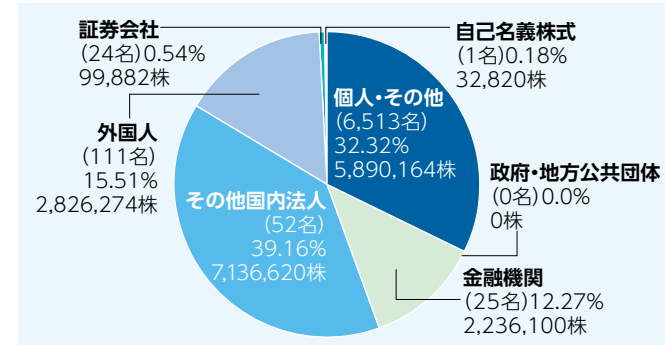
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式総数	18,221,860株
株主数	6,726名

大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
株式会社アルテミス	6,368,200	34.94
中村和男	1,909,720	10.48
TAIYO PEARL FUND, L.P.	1,161,700	6.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	929,500	5.10
株式会社キースジャパン	719,440	3.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	530,400	2.91
シミックホールディングス従業員持株会	372,694	2.04
TAIYO BLUE PARTNERS, L.P.	268,300	1.47
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	173,780	0.95
中村圭子	148,600	0.81

(注) 持株比率は、小数点以下3位を切り捨てております。

所有者別の構成比率 (株式数比率)



会社概要

2012年9月30日現在

商号	シミックホールディングス株式会社
設立	1985年
資本金	3,087,750千円
本社所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
事業所	名古屋支社 大阪支社 九州支社
従業員数	4,415名 (連結)
グループ会社 (連結子会社)	シミック(株) (株)シミックバイオリサーチセンター CMIC Korea Co.,Ltd. CMIC(Beijing) Co.,Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC,PTE.LTD. シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation (株)シミックエムピーエスエス サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック (株)シミックBS (株)オーファンパシフィック
持分法適用会社	エムディエス・シーエムジー(株) GCP CMIC Clinplus Co., Ltd.

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
剰余金の配当基準日	9月30日(中間配当を行う場合は3月31日)
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
郵便物送付先・ お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(http://www.cmic-holdings.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告 をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して 行います。

単元未満(1株から99株)株式をお持ちの株主様へ

買取または買増をご請求いただくことで、単元未満株式を売却または1単元にすることができます。詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式分：口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式分：上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



シミツクホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-10-4 金剛ビル
Tel 03-5745-7070(代) Fax 03-5745-7077
<http://www.cmic-holdings.co.jp/>

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

healthクリックの健康コラム

1年の健康はお屠蘇にあり?

12月、クリスマスが過ぎると一気に街が年末年始の雰囲気になります。昔はどこの家でもおせちを作っていましたが、今はデパートや通販でも美味しいおせちを沢山売っていますね。

ところで、おせちと同じくお正月の定番であるお屠蘇、「屠蘇」とは「鬼気を屠絶し、人魂を蘇生させる」という意味で様々な効用があります。お屠蘇で健康な一年、始めませんか?

お屠蘇には 身体に嬉しい漢方薬がいっぱい!



薬種	効果
白朮(びやくじゆつ)	利尿・健胃・鎮静作用
山椒(サンショウ)	健胃・抗菌作用
桔梗(キキョウ)	鎮咳去痰・鎮静・鎮痛作用
肉桂(ニッケイ)	健胃・発汗・解熱・鎮静作用
防風(ポウフウ)	発汗・解熱・抗炎症作用

これも飲みたい! 🍵 大福茶 🍷 梅実酒

この続きはhealthクリックのサイトで **赤い袋** を検索

▶「伝承の味にはこんな効用が! 飲み物編」をご覧ください

healthクリック



「healthクリック」は、健康一般情報および疾病に関する情報を提供する日本最大級の健康ポータルサイトです。ぜひご利用ください。

病院・薬・サプリメントの情報満載!

詳細はこちらへ <http://www.health.ne.jp>